

# 国立病院機構旭川医療センターニュース 「花咲」 平成30年1月号/第69号

#### ~わたくしたちの理念~

わたくしたちは、安全で質の高い医療を提供し、 患者さんの目線に立ち、信頼される病院をめざします。 国立病院機構の病院として、 みなさんの健康と幸福をいつも願っています。



あさひかわ街あかりイルミネーション/撮影:広報委員会



# 新年のご挨拶2忘年会を開催3インフルエンザ対策について4職場紹介(放射線科)5ふくふく6がん相談支援センターより6外来管理診療棟等建替工事進捗レポート7

#### 発行所/旭川医療センター

旭川市花咲町7丁目4048 番地 TEL (代)0166-51-3161

発行責任者/平野 史倫

ホームページ/www.asahikawa-mc.jp

#### (広報室より)

広報誌「花咲」は、幅広い方々に 愛読されるような広報誌を目指しております。ご意見ご感想などございましたら、下記メールアドレスまでお願いいたします。

旭川医療センター広報室

E-mail renkei@asahikawa.hosp.go.jp



## 新年のご挨拶

#### 院長 西村 英夫

新年、あけましておめでとうございます。今年は戌年です。どの ような年になるのでしょうか。昨年来、新外来棟の建設が進んでい

ます。1期工事も順調で3月には完成し、いよいよ病院の顔となる2期工事の外来部門が4月から立ち上がります。本年秋には放射線治療の機器も市内では最新のものが導入されます。また、現在既存の看護学校などの解体も進み、だいぶ見晴らしがよくなってきました。救急外来も2倍以上になりますし、各外来のブース、診察室も増えます。いろいろな催しものに活用できる外来ホールも来年9月には立派な外来棟ができるものと確信しています。

また、昨年に北海道から地域医療支援病院の指定を受けて、初めての新年を迎えました。救急搬送も 昨年以上のペースで来ており、地域での期待を裏切らないようにきちんと診療をしていかなければとい う気持ちでいっぱいです。従来からの在宅療養後方支援病院でもあり、花咲のこの地で、数十年は地域 の住民、開業医の皆様のために医療を行いたいと考えています。

本年は、4月に診療報酬、介護報酬などの改定が予定されており、どこの医療機関もその中で生き残るうと必死です。当院も前述のように、建物整備などの莫大な投資をしています。しかしながら、これは今の時点でしないと将来が不安であるとのことで決断に至りました。当院は今のところ健全経営ではありますが、住民の安全、健康を守るためにはまず、病院自体が健全経営でないといけません。皆様の要望にしっかり応えるべく、現在の診療体制を維持していきたいと考えています。

当院では若手の医師、看護師なども育ってきており、これからの高齢化社会の波も乗り切れるものと考えます。特に、近隣の春光、末広、永山地区等の地域医療の要として施設、在宅での急変時にも対応できるように病棟編成の組み替えをも考えています。具体的には、現在の急性期病棟以外にリハビリを積極的に行う、もう少し長いスパンで病院にいることができる病棟です。これは、春までには皆様にお知らせできるものと考えています。また、3年前から 当院退院の方を対象に当院のベテラン医師が訪問診療も開始しています。どうしても、病院に来られない、在宅での医療を望まれる方などはどうぞ、ご相談ください。看取りを含めて行っています。これらは、主治医、担当医と相談の上、内科外来内線750で、いろいろとご要望などを承っています。どうぞご利用ください。もちろん、当院の従来からの政策医療(筋ジス、結核)などの守りはきちんとして各診療科の活動を広げていきたいと考えています。

さて、平和の祭典オリンピックの年でもありますが、いろいろと面倒なことも多いこの頃です。そのなかで、住民の皆様の頼りになる病院を目指して本年も職員一同、努力いたしますので、よろしくお願いします。



#### 忘年会を開催

#### 理学療法士 鈴木 優太朗

12月8日(金)、旭川医療センター忘年会を市内のホテルで開催しました。私は恐れながらも総合司会を務めさせていただきました。入職後初めての司会という役目で緊張が勝ってしまい、少々呂律がまわらず聞きにくいところもあったかと思います。しかしながら多数の先生方や職員の皆様のご協力があり、何事もなく忘年会を無事に終了することができました。

さて、忘年会では総勢90名の方々にご参加いただきました。西村院長をはじめ、藤兼副院長や木村 統括診療部長からは昨年度の総括や次年度に向けてのお話がありました。昨年度は外来棟建て替え工事 の開始や地域包括ケア病棟設置の決定など、当院にとっては大きな変化があった年であるということを 振り返りました。私はそんな変化のある年に入職したのだなと改めて感じました。新年度からも外来棟 工事は着々と進行し、ついに地域包括ケア病棟の運営が開始される予定であり、ますます激動の一年に なるのではないかと予想されます。先生方のお話を聞いて、きっと職員の皆様もより一層仕事を頑張っていこうと思えたのではないでしょうか。

忘年会の後半ではビンゴ大会やエースバンドの演奏、とある男女二名による美女と野獣などの余興で大変な盛り上がりでした。

今回の忘年会に参加いただいた職員の皆様、本当にありがとうございました。まだまだ未熟者の私ですが、新年度に向け少しでも病院の戦力となるよう日々の業務に励もうと改めて思えた忘年会でした。





#### インフルエンザ対策について

旭川医療センター 感染対策室 感染管理認定看護師 木元 史子

寒い日が続いておりますがいかがお過ごしでしょうか?

今年もインフルエンザが猛威をふるっております。例年、A型の流行の後にB型が流行しますが、今年はA型・B型が同時に流行しているようです。

対策を覚えて、しっかり予防に努めましょう。

#### ・インフルエンザと風邪の違いについて

一般的に風邪は、のどの痛み、咳やくしゃみなど局所的な症状が主で、全身症状は見られません。一方、インフルエンザは、38 度以上の高熱・関節痛・頭痛・筋肉痛などが見られ急激に発症します。

小さなお子さんや高齢者などは重症化しやすいので、注意が必要です。



#### ・隠れインフルエンザに要注意!!

ニュースでも報道されておりましたが、<a>「隠れインフルエンザ」</a>をご存じですか?

高い熱が出ると言われているインフルエンザでも、高齢者の5割・成人の2割は高熱が出ないとの報告があります。理由として、ワクチン接種により症状が軽く済むこと、高齢者など免疫の機能が不十分で発熱がない場合、市販の風邪薬で一時的に解熱している場合などがあります。また、B型インフルエンザは、A型ほど高熱が出ないことがあります。

微熱でも倦怠感や風邪症状がある場合、インフルエンザを疑い、早めに受診しましょう。

#### ・予防は?

インフルエンザは感染者の咳やくしゃみを吸い込むことで感染します。 また、手に付着したウイルスが鼻粘膜等に付着することでも感染します。 予防は、ワクチンの接種、マスクの着用、手洗いと手指消毒、人ごみを避ける、 睡眠・栄養を十分にとる、十分な加湿です。(湿度 50%以上) ワクチンで必ずしも罹患しないとは言えませんが、症状が軽く済むことがあり

ますので、できる限り毎年受けましょう。効果が表れるのは、およそ2週間、持続期間は5か月と言われております。12月前までには接種が望ましいですが、今からでも遅くはありません。

#### かかったと思ったら

まずは医療機関を受診しましょう。診断には、インフルエンザの迅速検査を行います。発症当日は、体内のウイルスが十分に増えていないため陽性と出ないことがあります。ウイルス量が増えるのは、24 時間から 48 時間までですので、治療は発症後 48 時間までに行う必要があります。結果が陰性でも、周囲の流行状況に応じて治療を早めに開始します。



VACCINI

#### ・インフルエンザの潜伏期間と人にうつす期間は?

潜伏期間は、1~2日です。人にうつさないように、発症後5日間かつ解熱後2日間は、自宅で療養しましょう。その後1週間はマスクを装着して、外出しましょう。

いかがでしたか?今年も元気に冬を乗り切りましょう!!



# 職場紹介

#### 放射線科

診療放射線技師長 茶木 俊彦

診療放射線科は、「親切、丁寧」をモットーに医師(放射線治療医)1名、放射線技師8名、事務1名で様々な医療機器を用いて画像検査や治療を行っています。

当科は、画像診断、核医学(RI)、放射線治療の3部門で構成されています。 画像診断部門は、胸部や腹部、骨などを撮影する一般撮影とCT、MRIなど があります。

一般撮影室は2部屋で、どちらもフラットパネルディテクターを使用して撮影しています。フラットパネルディテクターは、被ばく線量の低減を図るとともに鮮明な画像を提供します。

CT装置は、診断用が1台、放射線治療計画用が1台の計2台です。当院のCTはマルチスライスCTとよばれ、検査時間が短いことが特徴です。

MRI 装置は、放射線を使わず、強い磁石と電波を使って写真を撮像する装置で、 被ばくすることなく検査ができます。 当院の MRI は 1.5 テスラ装置で検査時間 を短縮するのに欠かせない多チャンネルコイルを装備しています。

乳房撮影装置は乳房専用のエックス線装置で、触診でわからない腫瘤や微小石灰化を写し出すことができます。当院は精度管理中央機構の施設画像認定を取得し、同機構の認定を受けた技師が在籍しています。また撮影は、すべて女性技師でおこなっています。

骨密度測定装置は、2種類のエックス線を利用して腰椎と股関節を測定する方法で行っています。この方法は超音波やCTなどを利用する他の測定方法と比較してより精度の高い測定ができます。

この他、X線テレビ装置、血管造影装置も最新のフラットパネルディテクター 方式の装置を設置しています。

核医学(RI)部門は、使用する薬品により様々な臓器や部位を検査することができ、すばやく病気の有無を調べることが可能です。当院のガンマカメラ装置は CT や MRI と同様な断層画像が得られる SPECT (Single photon emission CT) 装置となっています。

放射線治療部門の装置は、リニアックと呼ばれ、放射線を照射してがん等の 病気の治療、痛みなどを緩和します。外来棟一期工事の完成とともに最新の装



置を設置、本年秋には稼働予定で、定位放 射線治療など新たな治療方法が可能となり ます。

当科ではこれらの装置の保守・管理・安全取扱いに努めより良い医療画像の提供、より精度の高い放射線治療等を行ってまいります。



















#### 3病棟副看護師長高橋 絵里香

早いもので松の内も明け、まだまだ寒さ厳しい日々が続いておりますが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。毎年の事ながら今期も雪が多く、日々の除雪に悪戦苦闘している方も多いと思います。

今年は戌年、冬期オリンピックも開催される年となります。戌年は、前年の酉年から実を結んだ草木が枯れ、新しい芽吹きへと生命を繋げていく「バトンタッチ」の意味を持つ年でもあると言われています。また、「笑い」という格言も持つそうで、皆さんにおかれましては、今年1年笑顔が少しでも多い年となることを祈っています。

さて話は変わりますが、季節毎に外来ホールなどがこっそりと飾り付けされていることにお気づきで

しょうか。外来だけではなく、病棟でも入院している患者さんに少しでも季節のイベントを感じていただこうと各病棟さまざまな飾り付けを行っています。私が所属している3病棟では今年、入院患者さんが毛糸を使ってクリスマスリースからちょい変して、かわいいお正月飾りを作ってくださいました。少しではありますが各季節において病棟毎にも飾り付けしていますので、機会があれば見に来てみてはいかがでしょうか(^u^)





#### がん相談支援センターより

がん性疼痛看護認定看護師 大坪 聡織

2018 年もスタートして約 1 か月が過ぎましたが、皆さんの 2018 年の年明けはどのような年明けだったでしょうか。今年もがん診療支援センターをよろしくお願いいたします。

さて、1月26日のがんサロン「縁佳話」は当院呼吸器内科の藤田結花医師による「肺がんの遺伝子変異の治療について」のミニ講座を行いました。「市民広報を見てきました」という方も多く、今回の参加者は院内外合わせて15名の参加がありました。

藤田医師からはまず「肺がんとは」という説明から始まり、そのあとに遺伝子変異の検査やどのような遺伝子変異があればどのような薬を使用できるのかなど、スライドを使ってわかりやすく説明していただきました。肺がん治療も年々進んではいますが、罹患数から考えると死亡者数が多くまだまだ手ごわい病気であります。いかに上手に肺がんと付き合っていくかが大切であることも、藤田医師のお話しの中でありました。が



んの個別化治療がこの先どんどん進んでいくことが考えられますが、それゆえに今まではなかった悩みも生じることがあるかもしれません。そうすると、今までのがん相談のニーズとは変わってくることも考えられますが、私たちも皆さんのニーズに応えられるように、なんとか頑張っていきたいと考えております。

今年は新外来棟の工事の関係で、これまで使っていたがんサロンの部屋が使用できなくなるため3月はお休みさせていただき、4月以降はこれまでとは違ったパターンでのがんサロンになる予定です。新外来棟が完成するまで少しご不便をおかけしますが、どうぞよろしくお願いいたします。

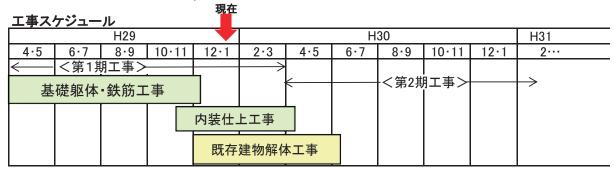


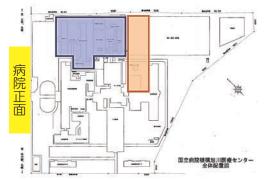
#### 外来管理診療棟等建替工事 進捗レポート

経営企画係長 森川 直彦

1月に入り、寒さもいよいよ本番を迎えました。

建替工事は順調に進んでおり、今月は建物南側の足場が撤去されて真っ白な外壁が現れました。内部工事は鉄骨建方が終了して部屋の仕切りとなる壁枠の設置が進んでおり、各部署が徐々に形作られています。(現在の工事部分は1期工事(完成 H30.3)の放射線、栄養、検査といったコメディカル部分やボイラー等のサービス部門になります。図面オレンジ色部分とあわせてご覧ください。工事は全体で3期まであり、現在1期工事です。)





現在工事部分(オレンジ色)、解体部分(紫色)



旧看護学校等解体(様子)



1F リニアック室内(壁厚 1m50cm)



1期工事外観



1F 連絡通路



2F 検査部門



### 受付時間 午前8時30分から午前11時30分まで 世界を対して、 (\*当院の再来受付は予約制(小児科を除く) となっています。

再来受付機は午前8時。

※この予定表は都合により変更となる場合がございますので、ご了承願います。

平成 30 年 1 月 22 日現在

診変	寮 科 別	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
呼吸器内科	診察室⑤	髙橋 政明	黒田 光	山崎 泰宏	鈴木 北斗	山崎 泰宏
	診察室⑥	藤田 結花	堂下 和志	黒田 光	藤田 結花	髙橋 政明
	診察室⑦	堂下 和志	辻 忠克	藤兼 俊明	藤兼 俊明	辻 忠克
	疾患センター外来 COPD (慢性閉塞性肺疾患)		副センター長 黒田 光 診察室⑤	センター長 山崎 泰宏 診察室⑤		
	午後診療 13:00 ~ 14:00 (予約診療のみ)		(新患) <b>禁煙外来</b> (予約制)			
	診察室③	(再来) 黒田 健司	(新患) 鈴木 康博	(新患) 新患担当医	(新患) 黒田 健司	(再来) 鈴木 康博
	診察室④	(新患) 木村 隆	(再来) 木村 隆	(新患) 油川 陽子	(再来) 木村 隆	(新患) 吉田 亘佑
	診察室⑫		(再来) 油川 陽子		(再来) 吉田 亘佑	
脳神経内科	診察室⑨	物忘れ外来 (予約制)				
加四十年が生とされず	午後診療 (予約診療のみ)		(再来) 野村 健太 診察室③		(再来) 岸 秀昭 診察室③	(再来) 黒田 健司 診察室③
						(再来) 坂下 建人
	疾患センター外来 パーキンソン病	センター長 木村 隆 診察室④				
	診察室①	(再来) 斉藤 裕樹	(再来) 高添 愛	糖尿病(新患·再来) 柏谷 朋	(新患・再来) 斉藤 裕樹	(新患・再来) 高添 愛
	診察室②	リウマチ(新患・再来) 平野 史倫	リウマチ(新·再) 平野 史倫	(再来) 西村 英夫	糖尿病(再来) 柏谷 朋	(再来) 西村 英夫
消化器内科	診察室⑫	(新患・再来) 横浜 吏郎				リウマチ(再来) 平野 史倫
7HTU66P31H	特殊外来	(甲状腺) 平野 史倫 診察室②		(リウマチ・骨粗鬆症) 平野 史倫 診察室⑨		
	疾患センター外来 糖尿病・リウマチ	センター長(リウマチ) 平野 史倫 診察室②	センター長(リウマチ) 平野 史倫 診察室②	副センター長(糖尿病) 柏谷 朋 診察室①	副センター長(糖尿病) 柏谷 朋 診察室②	センター長(リウマチ) 平野 史倫 診察室⑫
循環器内科	診察室⑧	石田 紀子	藤井 聡	石田 紀子	石田 紀子	出張医
総合内科 受付13:30~15:00 紹介ありの場合 16:00まで	午前診療			(再来) 安尾 和裕 診察室⑫	(新患・再来) 横浜 吏郎 診察室⑨	(新患・再来) 安尾 和裕 診察室⑨
	午後診療 診察室⑤ たみずは予約診療と	(新患・再来) 安尾 和裕	(新患・再来) 安尾 和裕	(新患・再来) 辻 忠克	(新患・再来) 安尾 和裕	

※月曜日の物忘れ外来は予約診療となり、脳神経内科の医師が輪番で行います。

100 110 110 110 110 110 110 110 110 110	寮 科 別	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
小児科	午前	診療援助 診察室①	診療援助 診察室②	診療援助 診察室①	診療援助 診察室②	診療援助 診察室①
一般外来	午後	診療援助 診察室①	診療援助 診察室②		診療援助 診察室②	

※小児科一般外来午後の受付時間は、午後1時30分から午後4時となっております。

言念 兆	寮 科 別	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
小児科	午前		長 和彦 診察室①		長 和彦 診察室①	
発達神経外来	午後		長 和彦 診察室①	長 和彦 診察室①	長 和彦 診察室①	

※小児科発達神経外来は初診・再診とも完全予約制となっております。

診療科別		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
外科	診察室①	渡邊 一教	永瀬 厚 (完全予約制)			
	診察室②	青木 裕之				前田 敦
	透析	透析		透析		透析

※外科は火、水、木曜日は手術日です。

診療科別	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
放射線科(治療) 放射線科診察室		宮野 卓		宮野 卓	

#### 予約変更、問い合せについて -

予約変更、予約内容の問い合せは午後2時~午後4時30分の 間にお願いします。

**20166-51-3161**